

「はらぺこあおむしははらぺこ」→「もろみ草」？
「じりつ」→「つきみ」 ん～・・・どこでこうなるのか、人伝いの話は本当か分からないねという学びを身をもって理解してもらえたようです。



↑もしもしゲーム 耳同士をくっつけてしまう・・・

お客さんにも楽しんでいただけて、よかった。
来年のハロウィンは、メンバーがもっと増えているかな。1年後が楽しみです。



冬の物販活動はじまります！！

夏の物販活動にご協力ありがとうございました。
今年最後の物販活動を行います。今回は、みんなに大人気のくまモンも登場しました。ぜひ、暖かいご支援をお願いします。今回の物販活動は、ふれあいホームの設備購入及びB型作業所のロッカー購入事業にあてたいと計画しています。

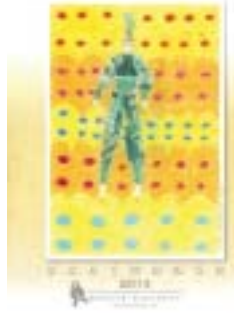
また、はたらく仲間のカレンダーも大好評発売中です。全国の仲間たちの素晴らしい絵のカレンダー！4月は、ふれあいワーク（熊本）の仲間の絵です。



卓上カレンダー
1,000円

よろしくお願ひします。

壁掛版カレンダー
1,200円



このカレンダーは、作業所・事業所等で「働く・活動する」障害のある人たちが、感動した風景や、夢、日々の想いを描いた作品をもとに製作されています。

月をめぐるごとに会おう、個性豊かに描かれた色あふれる風景を、

2014年もどうぞお楽しみください。

きょうされんの 第37次国会請願署名・募金運動

今年のスローガンは
障害者権利条約に恥をかかせないで！
～世界のルールを日本でも～
期間は2013年12月～2014年4月です。皆様のご協力をお願いします。
賛同人：落合恵子さん・竹下景子さん・堤末果さん

会報

特定非営利活動法人自立応援団 就労支援センターくまもと

No36

発行：特定非営利活動法人自立応援団 事務局
Tel：096-288-1752/Fax：096-288-1753
〒861-5535熊本市北区貞町780-8

きょうされん全国大会 | N東北・ふくしま [2013年09月21日 (Sat)]

きょうされん2013 第36回全国大会 | N東北・ふくしまが開催されました。羽田から福島までバスでの移動！

連休の渋滞があり、倍近くの時間がかかりクタクタの状態でご会入り！

オープニングは、仲間の詩から始まりましたが、車中からユーチューブによるインターネットで参加。武藤類子さんの詩はふくしまの人の気持ちを切々と伝えるものでした。

6時間かけて会場に到着した後に参加できたのは、「奇跡のピアノ」

奇跡のピアノは福島県いわき市の豊間中学校にあったもので、津波で泥とがれきに埋もれて誰もが修理は無理だと思われたもの。しかし、いわき市に住む調律師の遠藤洋さんが修復し、普天間かおりさんの歌声と共に、希望の音色を聴くことができました。このピアノは一昨年の紅白歌合戦で嵐のメンバーがピアノで弾き「ふるさと」を合唱しました。小名浜高校ふらがーるのチーム「ヒラワニ カイカマーヒネ」は震災後部員が1名となりましたが、今では4名になり素敵なフラダンスを披露して頂きました。

今回は就労支援センターくまもからは、福島とMくんが参加しました。2日間頑張ります。



仲間視察観光に行ってきました [2013年09月22日 (Sun)]

会津（あかべこ）コースに参加しました！

野口英世記念館に向かい、それから白虎隊の肩を見ました。

白虎隊は幕末

の会津戦争で政府軍と闘った若者たちで悲しい歴史をテーマにしたものです。あかべこの絵付けを体験しました。NHK大河ドラマで「八重の桜」が放映されていますが、舞台セットが展示してある記念館を見学したり、赤瓦の鶴ヶ城を見学し会津の歴史を感じながらの視察観光となりました。

観光には福島県のボランティアさんがついて頂き、いろいろと楽しかったようです。帰ってお話を聞いたら、ボランティアさんのお話をいっぱいしてくれました。ありがとうございます！

そのほか、きょうされん全国大会の様子については、特定非営利活動法人自立応援団ブログ <http://blog.canpan.info/zirituouendan>より・・・働く仲間の絵画展も開催されていました！



第8回 つばさ会まつり！！

【2013年9月29日 (Sun)】

今日は、ゆめタウンサンビアンにて第8回つばさ会まつりが開催されました。就労支援センターくまもとには、つばさ会の役員が3名在籍しています。

このまつりは、もう8回(年)目を迎え、地域の方々には障がいのある人たちのことを知っていただくとともに、障がいのある人たちとのふれあいを通して障がいの理解を広めようと、なかまが中心となり、毎年開催してきました。

今回も、6月からまつり実行委員会を立ち上げて準備をすすめてきました。

いよいよ迎えた本番！



まつりのチラシ・パンフレット原画には、今年も就労支援センターくまもとのメンバーさんのイラストが選ばれ、表彰を受けました。

まつりのMCや、つばさ会としてのステージ企画(ミュージカルにチャレンジ)、閉会のあいさつなど、みんなとっても頑張っていました。

私たちの販売ブースでは、まつり原画のポストカードや、キャラメルポップコーンが人気を集めました。みなさまお買い上げありがとうございました。

来場者参加型の企画、ラムネの早飲み競争では、IOBの三井くんが見事1位に！みんなでなみなみならぬプレッシャーをかけたことは内緒ね(笑)

今年も、たくさんのお出陣者のみなさん、ボランティア



のみなさんにご協力いただき、実行委員会のみなさん達のがんばりもあり、盛大なまつりを開催する事ができました。本当に、ありがとうございました。

第8回つばさ会まつり 打ち上げ～(～)!

【2013年10月11日 (Fri)】

先日おこなわれた第8回つばさ会まつりの反省会&打ち上げでした。

「のむぞー」飲みすぎはやめてね・・・(～)となだめながらの着席(笑)

まつりの大成功と、何よりみんながとても頑張ったことにかんばーい。ということで、がんばった分、めいっばい楽しめた様子をお伝えしました。

たくさんボランティアさんも、ありがとうございました。来年もよろしくね(笑)



安居楽業ゼミナール「はたらく」in広島～♪♪

【2013年08月24日 (Sat)】

8月23日～24日の2日間、きょうされんの“安居楽業ゼミナール「はたらく」”に福島理事長と原田が参加してまいりました。理事長との1泊2日・・・喋りっぱなし&常にお腹いっぱいでした(笑)

ゼミ1日目はきょうされん常任理事の小野浩さんの熱い基調報告、同じく常任理事の藤井克徳さんによる講座「ディーセント・ワークからみた作業所の実践」、反貧困ネットワーク広島の事務局長と、当事者の方による講演(ホームレス支援の現場の中での様々な事例や活動紹介)、広島らしいスペシャル講座として、講師師緩急車雲助さんによる「原爆講談」・・・もりだくさんでした。

障がいのある人たちの生活の問題だけでなく、日本の社会保障として様々な課題を捉える事が必要です。自分の生活にも不安を感じることや、近年マスコミにも取り上げられる一部の生活保護受給者

行政からお仕事が入ることで、少しでも工賃に反映することができればと思います。この方針ができたからといって、直ぐに仕事が増えるというわけではありませんが、これをきっかけに、行政と協働で仕事広がるきっかけになればと思います。

『ワーカーズ』上映会(*^-*)

【2013年10月27日 (Sun)】

みなさん、ワーカーズコープってご存知ですか？協同労働の協同組合という、働く人々・市民が、みんなで出資して民主的な経営で、責任を分かちあって人と地域に役立つ仕事をおこす協同組合なんです。すひらめき“協同労働”を柱に、全国各地でさまざまな事業・活動を展開されています。もちろん熊本でも・・・

今日は、そのワーカーズコープ熊本さんが企画・開催された映画ワーカーズの上映会に行ってきました。何をしにというと・・・『映画といえば



ポップコーンでしょ』という発想から、ポップコーンの販売に行きまして。

実は、IOBスポーツ推進事業団(福島貴志理事長)として上映会の実行委員会に入っていますので、そんなつながりもありつつ、販売の機械を提供していただきました。なので・・・もちろん理事長も参戦。とてもポップコーンを売っているようには見えません(笑)

ふれあいワークさんも一緒でした。金ちゃんのパウダーケーキ完売 みっちり販売をした後は、映画も観ることができました。世の中には色々な職業がありますが、みんな労働者で、当たり前使用者が存在します。でもこの映画で観た“はたらく”とは、労働者・使用者という区別なく、経営方針から具体的な仕事まで、一つ一つをみんなで決めてい

く・・・というもの。

入職したての新人さんも？など色々カチコチの頭で考える反面、そのやり甲斐や責任の持ち方、モチベーションの高さが理想に近く、ウキウキしました。

現代の日本社会における“労働”って？

何のためにはたらく？

私たちはメンバーさんたちと一緒に働きながら、自分に置き換え、相手に置き換え、いつも考えます。でも結局ひとりひとり考え方は違うので堂々めぐりになります。ただ、就労支援センターくまもとで働くみんなは、今の自身の仕事に責任を持っていて、楽しんでいるかな？過半数は・・・何だか深～く深～く考えさせられました。

Happy Halloween Party

【2013年10月25日 (Fri)】

当日は、あいにくの雨・・・でも今週も就労Bの



みんなは元気いっぱい。

ハロウィンにはすこ～し早いですが、毎度おなじみきり活動の時間を使って、ハロウィンパーティーをしました。あいえずヘルパーステーションやGHの職員の方々に招待状をお出しし、来ていただきました。お客さんの来訪に、オバケや魔女に扮したメンバーさん達がおどしをかけ・・・(笑)

おかしをぶん取る(笑)

めいっばいおかしプレゼントをもらって満足した後は、もしもしゲーム(伝言ゲーム)や風船バレー、ビンゴゲームで盛り上がりました。もしもしゲームは、ことばが出にくいメンバーさんもまぜこぜにして、みんなの“聞くチカラ”や“話すチカラ”を試してみましたが・・・

「ハロウィン」→「ハハハ」

秋めいてきたのでちょうどいい感じでできました。就労支援センターくまとのメンバーさん、グループホームの入居者のみなさん、ご家族、職員とたく



さんの人がこうして集まることはとても貴重な時間ですね。いい交流ができました！

おおぞらの会のみなさん、グループホームの世話人さん、準備からお肉焼き、焼きおにぎりまでありがとうございました。またよろしくお祈りします。

消防（避難）訓練！

【2013年10月16日（Wed）】

グループホーム（親和荘）にて消防（避難）訓練をしました。熊本西消防署員の方々においていただき、台所から出火した設定で、みなさん避難していただきました。

お部屋のカギを閉めようとしたり、かっこいい靴を履いて逃げようとしたり・・・

火災時や緊急時には考えられないことも多々ありましたが、何とか無事避難。。。

世話人も入居者の方々も、頭の中に『訓練』ということが入ってしまい、なかなか緊迫感がなかったようでした（反省）でも、防災がいかに重要か、緊急時にまず守るのは自分の体である事、などたくさん



の学びがありました。全員で消火訓練もし、消火器の使い方もバッチリ

グループホームは生活の場です。特に常に防災には努めなければなりません。

忘れてはいけないことです・・・。

きょうされん熊本支部 代表者会議

【2013年10月26日（Sat）】

きょうされん熊本支部代表者会議が熊本市大江にある希望荘にて開催されました。

基調講演は、『地域の中で自分らしく生きる』という演題で、板見陽子さんをお招きして、お話をいただきました。板見さんは障害を持つことで生じる変化として、「教育場面での選択」「卒業後の進路についての選択」「自立という生き方の選択」があることを指摘され、ご自分の経験を元に『普通学校入学の壁、受験という壁、自立に向けての進路について、生きづらさがあった。その中でアメリカで学んだ自立として、自己決定の大切さと差別に関する学びを伝えられました。

また、板見さんは、ご自分の経験を通じて、自立とは…「身辺自立」「社会的自立」「経済的自立」であるが、障がい者はこの3つを獲得するにはまだまだ、大きな障壁が社会にあることを指摘され、これからの支援として、医療、福祉、教育、法律が必要だという事を話されました。現在板見さんは、24時間介護保障を求める活動をされています。第1回目の公判が10月28日行われますが、法律の整備も地域で暮らすためにはとても大事な事であるとお話ししていただきました。きょうされんにおいても毎年国会請願活動を行っています。日頃の活動と権利を求める運動は対であることを改めて実感しました。

また、ボランティアやヘルパー様々な方々と通じて、互いに成長できる学び、楽しい日々がそこにあり、施設では体験できないものがあった経験もお話いただきました。

障害を個性に変えていく工夫、共に生きるとは、気持ちの共有、心のバリアフリーであり、違うことの大切さを共感することです。

午後からは、熊本県障がい者支援課にきて頂いて、平成25年度熊本県障がい者優先調達推進方針についてご説明をいただきました。仕事づくりは、大切です。

の不正受給と、マスコミにはなかなか取り上げられない、私たちがよく知る受給者の生活実態・・・。

“人権を守る”ことなど、障がいがあってもなくても、同じ人としての権利や生活の保障など、国民みんなが抱える問題について考える事が必要です。

2日目は障がい者福祉についてまた考える機会となり、3名の

レポーターの貴重な実践報告を聞くことができました。レポーターの中には、熊本からわがんせ（荒尾）の宮崎施設長もいらして、医療的ケアが必要な方との歩みや実践をお話していただきました。自立応援団の地域には、重い障がいを抱える人を受け入れる整備が整っている事業所がありません。今後は、そういった事業も視野に入れながら、更に地域に根付いた、誰でも通えるような事業所づくりをしていきたいと妄想しています（笑）

B型ができたことで、受け入れられる方の幅が少し広がりました。けれど、まだまだ様々な障がいを抱えた方もいます。みんなが、安心して将来を見据えて楽しく、その人らしく生活ができる環境整備が必要

資質向上研修会～居宅介護事業所ネットワーク～【2013年08月22日（Thu）】

平成25年度資質向上研修会として実施したのは、「腰痛予防の介護技術講習会」を開催されました。主催は、熊本市居宅介護事業所ネットワーク。あいえずヘルパーステーションが所属している団体です。



今回は、その中で身体介護とボディメカニクスについて、熊本労災病院の大洲人士さん（理学療法士）にお話と技術指導をしていただきました。当日は、熊本市内で事業を行っている訪問介護事業所から40名の方が参加。目からうろこの話もたくさんあり、如何に介護職員が無理な体制で身体介護を行っているのか。と感じた次第です。また、このやり方によって介護を受けられる方も負担が少なくなると感じました。

生活習慣病としての腰痛もあり、職員一人一人の生活習慣の改善も必要なかもしれません。今回学んだことは、支持基底面と身体重心について。

そこを押さえることにより介護を受けられる方も自分の持っている力を使いながら動くことができます。それが体力維持や向上にも繋がっていきます。

立ち上がりの準備～立ち上がり動作までの支持基底面をしっかりと考えて介助することが大事。

また、被介助者の能力・安全に留意した動作の介助方法として、テコの原理を用い重心を近くにおいて動かそうとしている為、反動や衝撃的な力を用いるので被介助者が苦痛が増大したり、残存能力を適切にいかせない欠点があります。しかし、今回の動作介助は障害に応じた介助で動作のどの部分がどの程度できないかを把握し、そのできない部分のみ適切に補うという考え方でした。今後の身体介護のやり方について、学んでいきたいと思ひますし、現場で生かすことができればと考えています。

流しそうめん（*´艸`）♪

【2013年08月22日（Thu）】

涼を楽しむ企画として、流しそうめんをしました。そうめん、おにぎり、野元食品さんの絶品お漬物、お手製から揚げなどなどなんだかんだとっても豪華な流しそうめん会になりました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました！



就職してはや半年…
[2013年9月9日 (Mon)]

4月から本格稼働をはじめた就労支援B型事業所もはや半年が経とうとしています。

熊本支援学校をご卒業されて就職されたMさんも、社会人はや半年！入職された頃と比べると、メンバーもふえ、他者とかかわりもふえてきたようです。

今日は、母校の恩師が来所されたので記念にカメラこれからもMさんらしく、一緒にがんばっていきましょ～



レッツ☆スイミング！
[2013年10月06日 (Sun)]

今日は、グループホームの日中活動で、Eランドスポーツクラブへスイミングに行きました。スイミングは、泳げなくても、激しい動きをしなくても十分に運動になるので、普段運動不足の人も、めいっぱい動きたい人も一緒に楽しめるので、もってこいなんです。滑り台を楽しんだり、水上相撲をやってみたり、ボールで遊んだり、もちろん泳いだり…。スイミング関係なく楽しんでみたり(笑)心身ともにリフレッシュでき、とてもよかったです！



せつな役割。元気な声であいさつするのも、歌を歌うのも、たいせつな役割。

まわりのことによく気付いて、小言を言うのだった、たいせつな役割なんです。それを、自分の役割として認識をし、よい人間関係を構築することにつなげていけば、私たちの役割(コーディネート)と、環境だと思っています。誰を拒むこともなく、自分たちのおかれる環境を存分に楽しめる。そんな就労支援センターくまもとのメンバーであってほしい。

ここは、そういう場であってほしいと願っています。みんながさらにステップアップして社会に一步踏み出した時には、この環境で仕事をしてきたことが、きっと活かせると思っています。

Iくんにも、自分の進む道を目一杯エンジョイし、Iくんらしく生きて行ってほしいと思います。卒業までの半年間、学校生活もがんばってください。

第58回 熊本母親大会
[2013年9月15日 (Sun)]

今日は、新都心プラザにて『第58回 熊本母親大会』が開催されました。その会場のホールでカクノスキ展と、チャリティーバザーを開催させていただきました。

販売には、就労支援センターくまもとのメンバー3名が販売委員として参加。大会分科会(第十一分科会・障がいのある人の今、そして、これから)にも参加し、山下順子さん(きょうされん熊本支部支部長)や、市川康弘さん(つばさ会運営委員・ふれあいワーク)のお話をはじめ、当事者、障がいのある子どもの

母親という様々な立場からの視点での現状や願い、想いを聞くことができました。



みなさん集中して聞かれています・・・
実行委員の予想を上回る参加者で、部屋はいっぱいでした。いろんな方々とお会いでき、有意義な一日となりました。

『障害のある人の人権と地域生活を考える関西フォーラム～安永健太さん死亡事件の真相究明を通じて～』
[2013年08月28日 (Wed)]

安永健太さん取り押さえ死亡事件(佐賀県・2007年)を通して、『障害のある人の人権と地域生活を考える関西フォーラム～安永健太さん死亡事件の真相究明を通じて～』というフォーラムが開催され、参加してきました。

事件からもうすぐ丸6年を迎えようとしています。そして、大きな権力と闘ってきた民事裁判も最終に向かっていきます。

警察がいう「正当な保護」とは？

障がいのある人たちの人権を守るとは？

私たちや、ご家族が、24時間一緒にいる訳ではありません。その人は、望んで障がいを持った訳ではありません。

同じ地域社会で同じ権利を持つ人として生きていくには、やはり市民・地域の理解が必要不可欠です。

それは、「障がいがあるから」特別な扱いをしてほしいとか、そういった事ではないのです。

どうか、みんなが生きやすく、世の光となる世界になりますように願ってやみません。

NPO法人とら太の会 30周年おめでとう
ございます、(´-`)ノ [2013年9月7日 (Sat)]

今日は八代(妙見町)のNPO法人 とら太の会さんの30周年記念講演会に参加して参りました。

午後からの講演会では、とら太の会のみなさんによるアトラクションで始まり、とってもすてきな歌を

披露してくださいました。



会場は満席状態で、400名を超える人々が集まっていたようです。講師は、東田直樹さんという会話のできない重度の自閉症の方と、お母さまの東田美紀さんでした。

直樹さんは、パソコンや文字盤ポインティング(お母さまが考案)によって援助なしでのコミュニケーションが可能で、自閉症、絵本、詩集など14冊の本を執筆されています。かなり興味深いお母さまの寄り添い方と考え方、そしてご自身のことを客観視することができている直樹さんの語る自閉症の世界。

可能性を信じ続けること、周囲が決めてしまうことでその人の可能性や本当のその人の姿が見えなくなってしまうのだ・・・と感じました。

私たちが「この方は話すことができない」=「障がい

いが重い」なんて決めて決めてうまくコミュニケーションがとれていないだけなのでは？と感じた時、私の頭には数名のメン



バーの顔が浮かびました。もっと寄り添うこと、可能性を信じること、本人の気持ちをどれだけ読み取ることができるのか・・・その人の周りにいる、たくさんの人たちが信じれば、その人の将来は大きく変わるかもしれません。

みんな大好き！バーベキュー(*´艸`)
[2013年10月19日 (Sat)]

今日はおおぞらの会(法人家族会)主催のバーベキュー懇親会でした。